


# 行橋ロータリークラブ

発行元/会報・広報委員会  
委員長 古賀貴士  
委員 末松和典、寺澤一光、  
藤友茂樹、横井俊博

Rotary  YUKUHASHI ROTARY CLUB WEEKLY REPORT  
24 JANUARY 2017 VOL.54 NO.21

第2592回 TODAY'S PROGRAM 職業活動表彰

1月17日(火) 例会



1月度入会月祝い  
豊瀬 敦R.(2015/1/6入会)

100万ドルの食事



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016-2017年度

国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム / 人類に奉仕するロータリー  
第2700地区ガバナー 富田英壽 / 基本に戻って、魅力あるロータリーに  
行橋ロータリー会長 安本仁美 / 実働 感動 さらなる躍動を  
副会長 村上良静  
幹事 岡本和久  
S A A 福島小太郎

## 今後のスケジュール

- 1月27日(金) パスト会長会 18:30～ 京都ホテル 会費6,000円
- 1月28日(土) ロータリー財団資金管理セミナー 13:00～16:00 福岡朝日ビル
- 1月31日(火) 休会(定款規定)
- 2月 7日(火) 通常例会/ロータリー勉強会 12:30～ 京都ホテル
- 2月 8日(水) 第1グループ会長幹事会 18:30～ 居酒屋てん(ホストクラブ/行橋みやこRC)
- 2月14日(火) 夜間例会/バレンタイン例会 18:30～ リコフェスタ 会費2,000円
- 2月21日(火) 通常例会/外部卓話 12:30～ 京都ホテル
- 2月28日(火) 通常例会/インターアクトアワー 12:30～ 京都ホテル
- 3月 7日(火) 通常例会/ロータリー勉強会 12:30～ 京都ホテル
- 3月11日(土) インター・シティ・ミーティング(I.M.) 14:00～17:30 & 6クラブ合同例会 17:40～19:20  
場所/香春町市民センター 登録料8,000円 ホストクラブ/田川IRC ※全員登録
- 4月16日(日) 地区大会 11:40～17:00 福岡国際会議場 登録料8,000円

## 第2591回 例会記録 ～2017年1月17日

ロータリーソング「我等の生業」(ソングリーダー 道脇孝一)

お客さまの紹介

田川ロータリークラブ ガバナー補佐 箕田政人様  
IM実行委員長 野村忠生様  
IM副実行委員長 荒瀬昭彦様



\* 今回は10年ぶりに若山r.がSAAを勤めます！

### 会長挨拶(安本仁美)



皆様こんにちは。2、3日前より寒さ厳しく、雪もちらほらと降っていましたが、皆さまにはお変わりございませんでしょうか。本日は職業奉仕でお休みの方が多くですが、1人1人がパワーアップをして頂きまして、例会を盛り上げていただきたいと思います。先週の新年例会はたくさんのお客さまにご臨席を賜り、楽しい時間を過ごすことができました。これもひとえに親睦委員長さんはじめ、委員の皆様、またバンド演奏、豊瀬さんのピコ太郎の芸と、楽しい雰囲気を作っていただきましたお陰とっております。ありがとうございました。また15日は寒さの中、4人の皆さまに国際ロータリー第2700地区青少年交流フェスタに参加をして頂き、誠にありがとうございました。内容につきましては来週お話をさせていただきます。本日は宮西親睦委員長さんの卓話になっていますのでよろしくお祈りします。最後に田川ロータリークラブの3月11日のIMにはぜひたくさんのお出席をお願いしまして挨拶に代えさせていただきます。

### 各委員会報告

#### 会報広報委員会(古賀貴士) ロータリーの友1月号紹介

- ①RI会長メッセージ(P.3) 国連の「持続可能な開発目標」ということを素材にロータリーの奉仕活動のあり方について説明しています。本号の特集も「守り伝える」となっています。前の特集で行橋クラブの取り組みが紹介されたのもアフターケアです。持続性ないし持続可能性がトレンドということでしょうか。
- ②職業奉仕はロータリーの根幹か？という記事(P.14)。職業奉仕は狭い「職業」を前提に職業倫理を中心に考えられているが世界ではもっと広い概念になっている。職業から離れて奉仕の理念として理解した方が国際的な溝をうめることができるのではないかと提案は興味深い。ただ、「奉仕の理想」の歌詞自体が「御国に捧げん我等の生業」となる以上、世界と日本の「奉仕の理念(奉仕の理想)」が埋まらないようにおもいます。
- ③ロータリーの栄光と魅力(P.62)。より重視すべきはロータリーの目的であって、そこでは職業人としてロータリアンはいかにあるべきかが示されている。ロータリーの栄光や魅力は消え去ろうとしているという危機感を示しています。②と合わせ読むと対立点がロータリーの目的の読み方、「職業」「奉仕」概念にあることも浮き彫りになる。

ちなみに、「奉仕の理想」を含めてソングの慣例はシカゴロータリークラブの親睦派と奉仕派の分裂を避けるために始まったそうです。世界的なクラブの対立を防ぐために新たな手だてが必要なのかもしれませんね。

#### 職業奉仕委員会(若山直樹)

・次週は職業活動表彰です。ぜひご出席をお願い致します。

**出席報告** 会員数40、欠席16(病欠0、届出あり14、届出なし2)、出席者数26、事前メイクアップ<sup>2</sup>、出席率65.00%

### 幹事報告(岡本和久)

・2016年手続要覧日本語版が1月末に発刊されます。

購入希望者は事務局までお知らせください。1冊6ドル(1月現在696円)

### 本日のプログラム①/田川RCよりインターシティ・ミーティング(I.M.)案内



#### 【IM実行委員長 野村忠生様】

IMは3月11日お昼からします。今回のIMは21世紀に入って国際ロータリーが大きく変化して、この変化を各クラブがどのような対処をすればよいか考える機会にしたい。アンケートを実施していろいろなご意見があることを承知しています。これを反映したIMにしたいと考えています。多くのご出席をお願いいたします。



### 【ガバナー補佐 箕田政人様】

今日は実行委員長に任せていましたが、2016年度の規程審議会では古いロータリアンと新しいロータリアンとの間にいささか解釈に違いがあるといえますか、勉強不足があるように思います。そういうことから野村委員長が考えましてこれからのロータリーはどうすればいいのかをみんなの智恵をお借りして考えようとする趣旨です。どうぞ皆様のお越しをお待ちしています。ありがとうございました。

本日のプログラム②／会員卓話(プログラム委員長 大塚清孝)

### 【宮西正晴R.卓話】

先週、大塚委員長から「会員卓話を」と言われ、内心「ドキッ」としましたが、ロータリーアンは頼まれた時は、断ったら「ダメ」と先輩会員から教わってましたので、心よくお受けさせて頂きました。年明け早々で、ほとんど準備が出来ていませんが、少しでもお話をさせて頂きます。



今回は私の若いころの足跡を、本業の水道に関することを交えて、話をさせて頂きます。

私は、昭和24年3月27日に旧京都郡延永村上津熊、現在の行橋市上津熊で生まれました。上津熊は私の母親の里で、父は豊津町惣社の出身です。母の里に住むようになったのは、終戦間近、父が最後の海外出兵の時、もう生きて帰ることは無いと思い、家族を母の郷里上津熊に帰して出兵したからだそうです。父は運よく、台湾で終戦を迎えたので、大した捕虜生活も無く、翌年に復員して、そのまま今の所に住んでいます。私の兄弟は、男ばかりの5人兄弟で、長男が現在の宮西設備を起しました。次男が専務で私は4男です。弟は経理を担当しています。すぐ上の3男の兄は3年前に他界しました。

小学校は延永小学校で、中学校は長峡中学校です。長峡中学校は、他の中学校と少し変わったところがあります。他の学校は行橋市立ですが、長峡中だけは、行橋市・苅田町立長峡中学校組合立長峡中学校と、長ったらしい校名になっていました。延永校区と椿市校区、それに苅田町の白川校区が一緒になって通学していました。その後、白川校区は与原中学校に行くようになり、現在は行橋市立となっています。高校は北九州市内の私立高校で、その後、短大を卒業し、現在の宮西設備に入社しました。

宮西設備は封建的な会社で、入社してから先ず現場で仕事をたたき込みました。私も最初は現場での仕事に、体力的について行けず、時には体調を壊し月に2、3日会社を休むことがありました。1年過ぎた当たりから体力的にも皆さんについていけるようになってきたと思います。

入社した昭和44年の翌年、行橋市で大規模な水道事業の第三次拡張工事が始まりました。当時としては工事費5億円以上の大工事で、水源の拡張、浄水場の新設、配水タンクの新設、給水区域を郊外まで拡張するのと市街地の給水を増強する工事で、3年間くらいかかる大工事だったと思います。全体の工事を請け負った会社は、水道工事専門で全国ネットの大手の会社でした。我々地元の同業者は、地場企業育成という観点で下請をさせてもらえるようになったそうです。宮西設備が担当した工事は、配管口径が150mm~300mmの配管でした。それ以上の口径の配管は元請が連れてきた業者が分担し、それ以外の配管は市内の同業者数社で分担しました。主な水道管の配管は、矢留浄水場から行橋市街地を横断する、いわゆる、行橋の水道管の背骨にあたる配管工事です。

まず私が担当したのは、南行橋駅近くの小犬丸から羽根木の厚生病院と東陶に行く区間の配管。次に逆方向に行く、小犬丸から京都高校の前を通過して今川橋までの区間の工事でした。まだ入社1年目で21歳でしたが、その工事を担当するようになりました。担当と言っても職人さんは皆、私より年上で、少しでも変な口の聞き方をしたら、帰って来る言葉は「正晴君は最近中々偉くなったな」とか、「この口ばしの黄ないのが」とか、まだ「ケツの青いのが」と返ってくるか「蹴り」が入ってくるかでした。毎日、腰まで泥水に浸かっての作業の連続でした。元請の事務所に泥まみれのまま、毎日工事報告にいくのですが、そこには若い女性の事務員さんおり、ちょっと恥ずかしかったのですが、気持ち良く椅子を出して戴いたのには感謝していました。その時期、どうすれば職人さんがついてきてくれるか、ずいぶん苦労もしたし、勉強もさせて頂いたと思います。

それともう一つ、この工事の途中ででしたが、大きな疑問がありました。水道管を配管した後に、掘った穴を碎石で埋めるのですが、その碎石は全て購入になります。毎日使った碎石の数量をまとめるのですが、請け負っている数量よりいつも多く使った計算になっていました。穴を狭く掘って埋める碎石が少なくなるようにしてみたのですが、いくらしても毎日計算より多く使っていました。碎石の納品書には、大型10トン車が1台10m<sup>3</sup>、4トン車が4m<sup>3</sup>と書いていました。どうも納得がいけないので、大型車の荷台に乗り碎石をキチッと台形にならし体積を計ってみました。すると30分もしないで、社長がバイクに乗ってきて、元請さんから電話がかかってきて、それだけは止めてくれと言われた

そうです。元請けさんは碎石屋さんに運搬費を儲けるために、採石場から買うのは1台7m<sup>3</sup>、我々に渡すのは10m<sup>3</sup>、3割儲かるといった具合です。ごまかしていたのがバレてしまったようです。最終的には、価格を少し下げ、1台当たり8m<sup>3</sup>の計算にすることになりました。私は納得していませんでしたが、仲直りのため一杯飲まれたのでしょう。条件を飲んでしまいました。でも、だまっていたら大損していたと思います。

それから2か月間くらい関東の方に研修に行っていました。帰ってから次の工事区間の開始です。京都橋を渡ったところから、門樋通りを通り、青い林檎の所を曲がり、山田さんの倉庫の前を通り、プリオの前からひびき信用金庫、駅通りを渡って、エビス通りの中を工事するのですが、エビス通りは日中は工事できません。その区間は夜間の工事でした。ですが、最近の工法とまったく違い、あまりの音の大きさに大変な苦情が出たこともありました。この頃から、元請けさんから苦情処理とも工事の進め方について、完全に任されてまかせて頂けるようになったと思います。その後、末松興産さんの前、大橋郵便局の前から福島さん所の万年橋を通過、国道201線を渡り、行事ルミール前の植村酒店迄の工事でした。行橋を横断する水道管の背骨にあたる配管工事でした。この延長約3キロ。約半年間の工事でした。

全体の工事は約3年かかったと思います。浄水場の工事も終わり、浄水場から水を送ることになりました。途中漏水などのトラブルもありましたが、配管内を洗いながら最終地点の植村酒店前までたどりつのに数週間かかったと思います。通水式は、植村酒店の前で行われました。水圧が高くなる真夜中でしたが、当時の金子市長も立ち会っての通水式でした。私もハンドルを廻らせていただきましたが、その時は感無量でした。

当時の配管は、今は耐震化のため新しい管に入替えが進んでおります。その当時の配管はもうほとんど残って無いと思います。ただ、京都橋に添架されている300m/mの配管が今でも残って確認できます。京都橋の行橋側は半径10m位の円弧を描いています。その円弧の通りきれいな曲線に見えるように配管を加工するのに、苦勞して加工したのを覚えています。

いま考えると、時代の移り変わりは早いものだと思います。先ほども言ったように私が一生懸命配管した配管は、現在はもう使えなくなり、新しい配管になっています。また、その時の元請会社は、インフラの整備という当時の目的を達成し、現在は存在していません。その会社だけではなく、同じような会社の多くが無くなっています。私たちも、時代の変遷について行かないと淘汰されてしまいます。これからも、時代に合わせ、姿を変えながらも、頑張っ行ってこうと思っています。

今日は、他愛も無いお話をさせて頂きました。ご清聴ありがとうございました。

#### ニコニコ発表(木村圓雅)

■おめでとうございます。本日はお世話になります。中ニコニコ(田川ロータリークラブ 箕田政人様、野村忠生様、荒瀬昭彦様)  
■田川ロータリークラブのIMの成功をお祈り致します。宮西さん卓話ありがとうございました。(安本仁美R.) ■宮西委員長さん会員卓話ありがとうございました。昔の水道配管工事のご苦勞がよくわかりました。(村上良静R.) ■田川ロータリークラブのIM、多数参加するように努めます。本日はご苦勞様でした。(岡本和久R.) ■宮西さん卓話ありがとうございました。懐かしい地元のお話大変楽しく聞かせてもらいました。(梅田隆子R.) ■宮西会員、大変貴重な卓話を本当にありがとうございました。(大塚清孝R.) ■入会月祝いありがとうございました。今後もよろしく願います。(豊瀬 敦R.)  
■早退申し訳ありません。(松岡紀昭R.) ■古賀会員、良いお話をありがとうございました。田川RCの皆様ようこそお越し頂きました。若山会員10年ぶりのSAA誠にお疲れさまでした。宮西会員、卓話ありがとうございました。(道脇孝一R.) ■宮西さん卓話勉強になりました。(宮田将英R.) ■I.M.第一グループ全員で大成功させましょう!宮西パスト会長、卓話ありがとうございました。興味深く聞かせていただきました。(若山直樹R.)

**本日計 15,000円、累計 531,000円 ありがとうございました。**

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

